

日本国際観光学会論文集 執筆要領

1. 原稿の体裁

- (1) A4 横書き (38 文字×40 行)。フォントは 10.5 ポイントとし、原則として日本語場合は明朝体 (全角)、英数字の場合は Times New Roman (半角) を使用してください。
- (2) 原稿には次のものを含めてください。
 - ① 日本語および英語の表題と原稿のカテゴリー (「論文」「研究ノート」の別)
 - ② 英文抄録 (200 語程度)
 - ③ キーワード (日本語と英語)
 - ④ 本文 (12 枚以内。図表を含む)
 - ⑤ 謝辞 (必要に応じて)
 - ⑥ 注
 - ⑦ 参考文献
- (3) 年号は原則として西暦を (どうしても元号を入れる必要がある場合は、1980 (昭和 55) 年と記述してください)、また頁は「ページ」(カタカナ) を使用してください。
- (4) 句読点は「、」「。」を用いてください。
- (5) 章や節などの見出し (番号) の表記は、以下のとおりとします。(ゴシック体・全角を使用)
章の記号は「1. 2. 3. …」
節の記号は「1-1 1-2 1-3 …」
項の記号は「(1) (2) (3) …」
- (6) 注は脚注ではなく文末脚注として論文の最後一括掲載 ([注]と記す) し、本文中の注は () 上付で、通し番号とします。
(例) ……である(1)。
- (7) 参考文献の著者名を本文に入れる場合は以下のいずれかの方法とします。
 - ① 文章中の引用例: 「国際国男 (2002) によれば…」
 - ② 文章外の引用例: 「…ということである (観光太郎, 2016a)。」
- (8) 参考文献は論文末 (注の次) に表記してください。
 - ① 表記は[参考文献]とし、日本語文献、外国語文献、電子資料等、その他の順に記し、それぞれ著者の五十音順、アルファベット順に記載すること。
 - ② 参考文献の表記は以下のとおりとする。同著者の同年発行のものは、発行年の後に a、b と記す

こと（例：観光太郎（2016b））。また著者が複数の場合、日本語文献は著者名には中黒（・）、英語文献の場合、著者 2 人の際には and でつなげ、3 名以上の場合はコンマ（,）区切り、最後は and でつなぐ（以下、記載例を参照）。

- ③ 著者・編者名の記載がない刊行物の場合は、発行機関名を表記する。機関名が長い場合、本文、注の中では、略号、略称を用いてもよい。ただし、参考文献リストでは正式名称が分かるようにしておくこと。

[日本語文献]

観光太郎(2016a)「地域まちおこしの回顧と展望」『〇〇大学 XX 学部紀要』Vol.2、50～63 ページ。
観光太郎(2016b)「訪日外国人の消費行動」『観光経済論集 (No.5)』日本〇〇学会、12～28 ページ。
国際国男(2002)『観光概論』日本書院。

[外国語文献]

Casper, D. (1988) *Deregulation and Globalization*, HarperCollins Publishers.
Forsyth, P., King, J., Rodolfo, C.L., and Trace, K. (2004) “Preparing ASEAN for open Sky”,
AADCP Regional Economic Policy Support Facility Research Project 02/008, Monash International.

[電子資料等]

経済産業省（2020年ドバイ国際博覧会日本館基本計画検討会）（2018）「2020年ドバイ国際博覧会日本館基本計画」
https://www.meti.go.jp/report/whitepaper/data/pdf/20180205001_01.pdf 閲覧日：〇〇〇〇年〇月〇日。

日本政府観光局「月別・年別統計データ（訪日外国人・出国日本人）」

https://www.jnto.go.jp/jpn/statistics/visitor_trends/index.html 閲覧日：〇〇〇〇年〇月〇日。

2. 図表の体裁

- (1) 図や表には**図-1**、**表-1**と番号をつけ、必ず**タイトル（ゴシック体を使用）**を付記してください。タイトルの位置に関しては、図は下、表は上とします。
- (2) 図や表の出所・出典は、参考文献の記載要領にしたがって明記してください。
- (3) 図や表は印刷用版下として直接使用できるものにしてください。なお、編集時に解像度が低い図表に関しては解像度の高いものを別に提出していただく場合があります。

以上